



Nakanoto News Letter なかのとニュースレター

～子供たちの笑顔あふれるまちづくり～ 令和2年8月随時会議、9月定例会議 Vol.3

心地よい秋風が吹き抜ける季節となりました。いつもはお祭りで賑やかなこの時期に聴こえる音がしないのは、寂しく感じますね。中能登町議会では8月随時会議・9月定例会議が開催され、私が6月の一般質問で取り上げたGIGAスクール構想における児童生徒一人一台タブレット端末整備予算が議案上程され可決、そして整備されることとなりホッとしております。子供たちの社会に出たときの連動性を考慮し、当町ではWindowsがOSとして採用されます。子育て世代の親の一人として執行部の迅速な対応に感謝いたします。今後も三蜜を避けながらも執行部との連携は密に行い更なるコロナ対策に知恵を絞っていきたいと思います。

令和2年度8月随時会議報告 ▲は減額 △は増額

8/31(月)令和2年度8月随時会議が開催されました。執行部より一般会計補正予算案が提出され全会一致で可決しました。コロナ対策での衛生費や教育費が主なものであり、詳細は以下の通りです。

令和2年度一般会計補正予算総額 128億8823万6千円(△1億5422万7千円)

歳入:	国庫支出金	2668万5千円
	基金繰入金	1億2754万2千円
歳出:	衛生費	651万7千円 (インフルエンザ予防接種65歳以上補助 6517名分)
	防災対策費	1302万9千円 (災害時用段ボールベッド、間仕切り)
	教育費	1億2089万4千円 (GIGAスクール構想一人一台タブレット1325台分)
	学校管理費	592万9千円 (各学校にサーモグラフィー・図書消毒器配備)
	➡サーモグラフィー・図書消毒器は各図書館や体育施設にも配備されます。	

令和2年度9月定例会議報告 ▲は減額 △は増額

9/4(金)～25(金)までの22日間、9月定例会議が開催されました。執行部より議案12件、認定8件、最終日に追加議案2件と同意14件、議会より発委1件の全ての議案が全会一致で可決しました。

令和2年度一般会計補正予算額 133億4068万2千円(△4億5244万6千円)

歳入:	国庫支出金	3億8546万5千円 (地方創生臨時交付金)
	基金繰入金	▲3億272万4千円 (繰入総額 17億2904万3千円)
歳出:	議会費	▲383万6千円 (議員報酬6ヶ月1割カット、視察中止)
	総務費	4815万4千円 (財務会計・文書管理システムの電子決裁化等)
		7118万9千円 (町内47ヶ所のトイレ洋式化、424ヶ所の水道自動化)
	商工振興費	2億6720万3千円 (内プレミアム付き商品券 2億4千万円)
	農業振興費	651万3千円 (ふるさとを遠くで見守る応援事業 2万5千円×200名分)

令和元年度決算審査

△差引額がプラス ▲差引額がマイナス

	一般会計のみ	一般会計＋特別会計	水道事業会計	下水道事業会計
歳入	103 億 2491 万 4272 円	149 億 1317 万 3481 円	6 億 6798 万 1519 円	22 億 7048 万 9057 円
歳出	97 億 6063 万 6222 円	143 億 3779 万 2675 円	8 億 4916 万 1222 円	27 億 2384 万 0506 円
差額	△5 億 6427 万 8050 円	△5 億 7538 万 0806 円	▲1 億 8117 万 9703 円	▲4 億 5335 万 1449 円

今まで3月末に専決処分を行い歳入・歳出のバランスをとっていたものを令和元年度より働き方改革の一環としてやめたため、不要額が決算に持ち越され差額が大きくなりました。主な要因は、入札後の差額や事業の次年度以降への先延ばしなどです。また、公債費の残高が130億円ほどありますが、そのうち95億円ほどが今後の地方交付税での交付を見込んでいるとの説明でした。水道・下水道事業では一般会計から多額の繰入金を受けておりそれでも下水道事業では欠損金が発生している状況で、10月の全員協議会より料金の適正化について協議していくこととなります。一般会計においては ◎ななお・なかのとDMOの周知や両地域住民の交流促進、◎古民家(旧丹後邸)の有効活用、◎防災訓練での156名(うち女性58名)の防災士の活用などを今後の課題として指摘しました。

中能登町議会一般質問

9月17日(木)に中能登町議会一般質問が行われ、8名の議員のうち私は4番手で登壇しました。今定例会議では前回に引き続きコロナ対策の為、議員の持ち時間を半分の30分に短縮して行われました。



youtube でご視聴いただけます

*** 保育園における ICT 化を推進せよ**

保育園では保育士不足や労働環境に関して問題となっている。保育士の業務負担軽減のための ICT 導入を提案したい。経産省の調査結果によると、この ICT システムの活用で1ヶ月あたり77.5時間、約9.6日分の業務時間削減ができる試算が出ている。学校施設では既に導入されており、先生方の働き方改革に大きく貢献している。情報の一元化が図られ、保護者との連絡も円滑になり、保育士の業務も減るなどメリットが多くある。

現状と今後の保育園における ICT 化の計画はどのようになっているのか。また保護者への一斉メール配信整備を早期に実現すべきではないか。

答弁 私立認定こども園1園のみ導入されており公立保育園5園ではまだ導入されていないが、国の補助金も活用しながら導入していきたい。緊急連絡、児童の登園降園の管理、児童情報の3点の効率化が図られると考えている。その中でも一斉メールの配信整備をいちばんの重要事項と考え早急に整備したい。保護者への説明・準備を考えると早くても来年5月以降の導入となる。

*** 更なる子育て支援充実を図れ**

1.83。これは先月発表された当町の平成25年から29年における合計特殊出生率であり、石川県内19市町でトップだった。51ある北陸三県の市町村でも2位という大変素晴らしい数字であり、中能登町が住みやすく、産みやすく、子育てしやすいことを物語っている。これは町の進めてきた子育て支援事業、そして保育・教育関係者や関係各課の日々の積み重ねが実を結んだものである。子育て支援の中で人間にとって必要な衣食住のうち、食では給食費の助成があり、より金銭的負担の大きい制服購入券を新小1・新中1に配布してはどうか。

答弁 入学祝金2万円を新小1全生徒に交付しているし就学援助費支給制度もある。県内で全児童生徒へ制服購入費の助成を行っているところはない。今後も何が必要なのか精査しながら更なる子育て支援制度を充実させ、出生率日本の町を目指していきたい。

あなたの意見をお聞かせください。

中能登町議会議員 古玉いづみ

☎929-1817 石川県中能登町徳前む部十三番地 TEL:090-2836-6793

ホームページ : <http://izumikotama.net> メール : info@izumikotama.net



古玉いづみホームページ